



立教大学

立教セカンドステージ大学

学びの情熱尽きることなく

Rikkyo Second Stage College established in 2008

大学案内
2025

大学設立の趣旨と学長挨拶

About Rikkyo Second Stage College (RSSC)

立教セカンドステージ大学設立の趣旨

立教セカンドステージ大学 (RSSC) は、50 歳以上のみなさまのために立教大学が 2008 年 4 月に創設した学びの「場」です。それは、人文学的教養の修得を基礎とし、「学び直し」「再チャレンジ」「異世代共学」を目的としています。リベラル・アーツ（自由学芸）に体现される立教大学の建学の精神に基づき、高い評価を得ている学部学生のための全学共通科目や社会人大学院で培った先駆的な経験を駆使し、人生のセカンドステージにおいて、受講生が〈自由な市民〉としての生き方を自らデザインできるようにサポートする——これがユニークな生涯学習を目指す新しいキャンパス創造のコンセプトです。新たな学びにチャレンジする仲間としてここに集い、人と人とのネットワークを構築し、互いの多様性を認めて共生社会に参画することで、充実した人生を創造します。

RSSC は 2023 年に創立 15 周年を迎えました。歴代の多くの修了生は、同窓の仲間と一緒に社会貢献活動に、また、研究会や読書会などにも参加して、セカンドステージ・ライフを豊かに過ごしています。2025 年度入学の第 18 期生をはじめとする受講生とともに、これまで築いてきた良き伝統と文化を引き継ぎ、オンライン化を含む「新しい生活様式」にも対応できるように、いっそうの創意工夫とイノベーションを図っていきます。

*立教セカンドステージ大学は、学校教育法第 105 条に基づく「大学等における履修証明制度」(2007 年 12 月 26 日施行)により、『履修証明書』を交付します。

学長挨拶

立教セカンドステージ大学は、単なる生涯学習の場や文化講座プログラムではありません。「学び直し」と「再チャレンジ」の〈プラットフォーム〉として、私たちは位置づけています。体系的に設定したテーマに応じて、一年間、集中的に学びます。同期の仲間たちとゼミナールを作りあげ、修了論文の作成を目指します。このプロセスを通して、新たな人と人とのつながりが生まれ、当初は思い描いていなかった新たな課題を発見することもあります。セカンドステージ世代の方々に、〈アクティブエイジの生き方〉を自分自身でデザインし、修了後は、再び社会に参加し、貢献する多様な担い手として、その後の人生をいきいきと過ごしていただく。その契機を提供することが、設立以来の私たちの思いです。

学び直し、再チャレンジに加えて、もう一つ重要なキーワードがあります。それが、「異世代共学」です。立教セカンドステージ大学の学生と立教大学の学部生や外国人留学生が交流できる場が用意されていますが、その一つが、学部生対象の全学共通科目です。立教セカンドステージ大学の受講生も、一定の条件のもとに、全学共通科目を受講することができます。若い学生たちも、セカンドステージ大学のみなさんから、さまざまな刺激を受けています。

立教セカンドステージ大学での課題は、みなさんが蓄積されてきた知識と経験を、今一度ふりかえりつつ、また別の視点から見つめ直し、理解し直すことにあります。みなさんのこれまでの歩みを、自分という存在を越えたより大きな文脈の中に置いて再解釈することで、最終的には「私は何者なのか」という問いに対する解に取り組んでいただけます。

国立国会図書館の東京本館にある図書カウンター上部には、「真理がわれらを自由にする」という日本語とそのギリシャ語原文が刻まれています。それは、新約聖書ヨハネによる福音書第 8 章 32 節の言葉です。みなさんがこれから豊かで自由な人生を過ごしていただくために、立教セカンドステージ大学で「真理」に触れてください。半世紀を超える人生をあらためて言葉に置き直し、新たな可能性を築いてくださることを願います。



立教セカンドステージ大学

学長 **西原 廉太**
(立教大学総長)

年間行事と受講生の感想

Campus Calendar & Impressions of Students

キャンパスカレンダー

4

April

- ・入学式
- ・履修ガイダンス
- ・春学期履修登録
- ・春学期授業開始
- ・ウェルカムパーティ

5

May

- ・情報検索講習会

6

June

7

July

- ・納涼パーティ
- ・春学期授業終了

8

August

- ・夏季休業
- ・夏期集中講義

9

September

- ・ゼミ合同研修
- ・夏期集中講義
- ・秋学期履修登録
- ・秋学期授業開始

10

October

- ・立教大学ホームカミングデー

11

November

- ・秋季臨時休業
- ・秋期集中講義
- ・専攻科説明会

12

December

- ・公開講演会
- ・クリスマスパーティ、礼拝
- ・冬季休業

1

January

- ・修了論文提出
- ・秋学期授業終了

2

February

- ・修了者発表
- ・課外活動

3

March

- ・課外活動
- ・修了論文発表会
- ・修了式
- ・修了証書授与式

受講生の感想



浅野 一乃

2024年度
本科生

勉強は楽しいかも

「思い立ったが吉日」と思い、仕事を辞めRSSCに入学しました。自分自身が大学生の時とは違い、「疑問を持ったら調べてみる」という姿勢で授業に取り組んでみました。すると、理解しづらい授業でも発見があり、新聞を読んでも気が付くことが増え、勉強は意外と楽しいということを感じています。

これは自分だけでは感じる事ができなかったものであり、素晴らしい先生方、仲間たち、立教大学の蔵書豊富な図書館のおかげです。



内藤 誠

2024年度
本科生

恵まれた環境をそれぞれに活かしながら

目下セカンドステージの生き方を手探り中の人や、これまでの人生を一旦立ち止まって総括したい人、只々もう一度学ぶことを楽しみたい人、さらには、これから真に付き合える仲間を見つけたい人、等々、RSSCでは多くのセカンドステージ世代が抱く様々な思いに対応し、学び考える場、他者と刺激しあえる場が提供されています。セカンドステージ世代をターゲットにうまく全体設計されているな〜と改めて実感しています。恵まれた環境をどこまで活かせるかは自分次第。只今、授業にゼミと楽しく奮闘中。



武藤 睦美

2024年度
専攻科生

まずは体力作りから

入学当初は、運動不足を痛感した教室移動時の階段での上り下り。RSSCでは、自主的な課外活動も数多あり、友人達と低山会で軽く汗しています。新しいことにトライできるのは、誘ってくれる仲間がいればこそ。

また、論理的思考が必要な修了論文も、章立てを考えて次はこうしてと、ゼミ内で助言を得ながら、一步一步着実に進めました。家族に内緒で始めた学び直しですが、欲張らずに、無理なくマイペースで取り組み、生活の軸になりました。



板野 遵一

2024年度
専攻科生

贅沢な時間と空間

人生後半の過ごし方に雛形はありません。ただ様々な選択肢の中で自分なりの回答を見つけ出すのも容易ではありません。そのロードマップ作成にRSSCは大きなサポートをしてくれます。多彩な科目、贅沢な学習環境、様々な学友との出会い、大学の単位制度や修了論文作成は、他の学習機会と異なるリアルカレッジそのものです。

先生との距離が近く、要は知識の吸収もその機会を利用する自分次第です。そこが最大の楽しみだと実感しています。

立教セカンドステージ大学 6つの特徴

Special Features of the College

魅力ある科目群

Attractive Groups of Subjects

1 リベラルアーツの重視とセカンドステージ世代への対応

Emphasis on Liberal Arts & Special Subjects for Fifty-Year-old & Elder Citizens

立教大学の伝統であるリベラルアーツに基づいて、セカンドステージ世代がすすんで「学びたい」と思える魅力ある科目を開講します。教養や基本的な技能を学び直し、自他の人生や今まで看過してきた周辺の事象を再考する機会を得ることができます。

同時にセカンドステージ世代ならではの健康、経済、人のつながりへの関心に応える科目群も展開しています。



3 異世代共学

Intergenerational Learning

50歳から80歳代の幅広い年代の受講生が共に学ぶ立教セカンドステージ大学そのものが異世代共学の間でもあります。全学共通科目の中にRSSC受講生が多く参加できる科目が設けられています。学部生や大学院留学生の授業に参加する機会もあります。

異なる世代の考え方や行動を理解し、活力を身近に感じて自らを活性化するとともに、国際交流の一翼を担っています。



魅力ある学びの場

Attractive Place for Learning Opportunities

5 キャンパス—— 伝統の美しさと活力の場

Campus Life in Traditional Beauty and Vitality

利便性と快適性に恵まれた立教大学池袋キャンパスは、都心にありながら美しく、アカデミックで落ち着いた雰囲気があります。学生たちが闊歩するキャンパスで、「セカンドステージ世代の新鮮な大学生活」を送ることができます。

受講生専用のラウンジが用意されており、さらに、全国有数の規模と設備をもつ図書館、パソコン教室等の教育施設や食堂、室内温水プール等の施設も利用できます。



2 修了論文の執筆とゼミナールへの参加

Writing of Thesis and Participation in Seminars

すべての受講生がゼミナールに所属し、担当教員の指導を受けながら、それぞれが設定したテーマで修了論文を作成します。テーマ設定→各種調査→執筆とやり遂げる達成感は大きなものです。

参加者の自主性を重視するゼミナールでは、修了論文をめぐって活発な討論をします。この中でゼミ生仲間からヒントや励ましを受け、親交も深まります。コミュニティでの多様性を尊重する新たな生き方を語りあう貴重な場となります。



4 多彩なフィールドスタディと共同作業

Various Field Studies and Group Activities

教室内で個人で講義を受けるだけではなく、キャンパス外に出て地域で学ぶ機会やグループで作業する以下のような授業もあります。

サステナブルコミュニティの思想と実践(首都圏の農園を訪問、RSSC科目)
いのちを健康で彩る知恵(聖路加国際大学との交流、全学共通科目)
小豆島フィールドワーク(醤油をめぐって調査、パイロット授業)など

以下は授業期間終了後の課外活動(2023年度実績)

谷崎潤一郎の「秘密」を探る(日本橋周辺文学散歩) / セカンドステージを楽しむ
気心(セルフケア、気功を学ぶ) / JAZZ 入門講座など



6 修了後は専攻科、その他に

After Completion of the Program,
Students May Enter the Second-Year Course or Another Institutes

本科の修業年限は1年です。所定の単位を修得すると、修了証書が授与され、併せて、学校教育法105条に基づき、文部科学省が定める「履修証明書」が交付されます。さらに勉学を続けたい受講生のために、もう1年学べる専攻科(募集人員50名)が用意されています。その他に、立教大学内外の大学院や社会人を対象にした教育機関での学習の継続、各種社会活動へ従事する方などがいます。また、修了生の立教セカンドステージ大学への帰属意識が強く、修了期を超えた交流も盛んなのが特徴です(9ページ参照)。



カリキュラムの構成

Curriculum Outline

カリキュラムは、多様な社会参加の主体として自ら考える〈自由な市民〉のためにという視点で、「エイジング社会の教養科目群」「コミュニティデザインとビジネス科目群」「セカンドステージ設計科目群」の3群からなる選択科目のほかに、必修科目の「学問の世界 A」「ゼミナール・修了論文」をもって編成されています。また、立教大学の全学部学生を対象に開講される全学共通科目を一定の条件で履修することができます。

すべての科目にそれぞれ一定の単位数が定められており、本科を修了するには、1年間在学して、必修科目を2科目6単位（オムニバス講義の「学問の世界 A」および「ゼミナール・修了論文」）、選択科目を6科目12単位以上、合計18単位以上を修得することが必要です。

なお、受講生の過重な学習負担を回避するために、春（夏期集中講義を含む）と秋の各学期でそれぞれ履修できる科目数は、必修科目も含めて10科目（20単位）を上限としています。

本科修了後に進学できる専攻科では、必修科目を2科目10単位（「学問の世界 B」および「ゼミナール・修了論文」）、選択科目2科目4単位以上、合計14単位以上の修得をもって修了できます。

また、オンラインのコミュニケーションが加速する社会にも対応できる〈自由な市民〉を目指して、一部の科目をオンラインで実施します。

カリキュラム内容と開講科目

Curriculum & Courses

1. 選択科目については、下記の3つの科目群から自由に選択できます。

エイジング社会の教養科目群

第1群

人生のセカンドステージでは、立教大学が伝統的に重視するリベラル・アーツ（自由学芸）に触れることが不可欠です。それによって既成の先入観や価値観から自由になって、自己自身や社会、世界をこれまでとは異なる視点から見直すことができるからです。古今東西の知的遺産に学び、〈自由な市民〉としてこれからの時間を豊かに過ごすための教養を身につけることによって、セカンドステージに相応しい自己を形成します。

コミュニティデザインとビジネス科目群

第2群

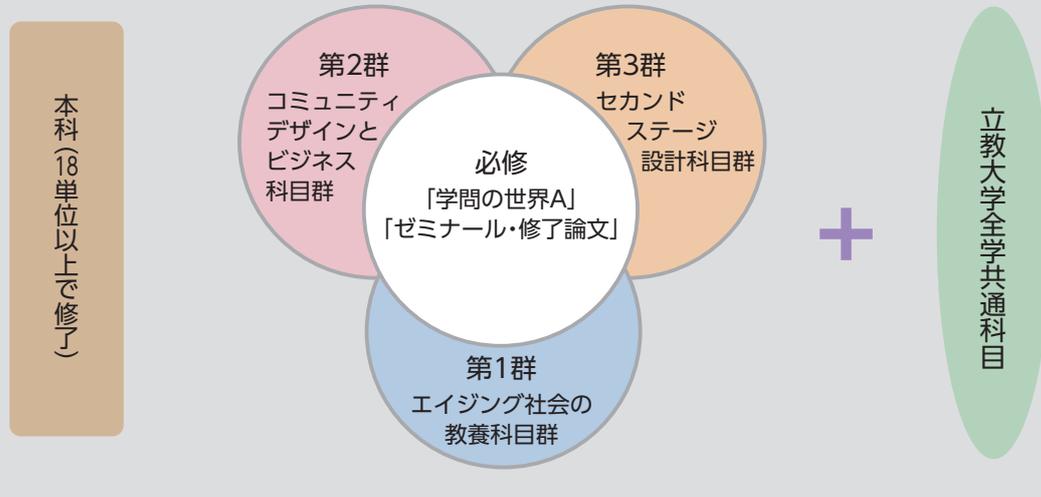
21世紀の新しい公共性を担うとされるNPO/NGO活動、また、ソーシャル・ビジネス/コミュニティ・ビジネス、ボランティア活動等について、立教大学が培ってきたさまざまなヒューマン・リソースとネットワークを活用した実践的講義を展開します。立教セカンドステージ大学に付置された社会貢献サポートセンターと連携して、セカンドステージ世代の生きがい創造と社会貢献への船出を支援します。

セカンドステージ設計科目群

第3群

セカンドステージは「第二の人生」にほかならず、自分の将来を見据えた人生設計は、生き生きと生活するセカンドステージ世代を支える力になります。健康で豊かな、知的好奇心にあふれた第二の人生の新しい可能性を開くために、高齢化社会におけるセカンドステージ世代の位置づけと役割、セカンドステージ世代と社会共生、さらには死生観を含めた人生について考え、それを実践するためのヒントを提供します。

カリキュラム構成の概念図



2. 必修科目は以下の2つです。

オムニバス講義「学問の世界A」

ゼミナール担当教員を中心に輪番で、それぞれ専門とする学問をその営みの意義と関連づけて語ります。そこには、知性と教養に裏打ちされたセカンドステージをデザインしてゆく上でのヒントがあるはずです。加えてゲスト講師の特別講義も折り込まれます。本講義は、修了論文作成のための示唆に富む知的交流の場でもあり、各ゼミの枠を超えて、同期生全員が一緒に同じ科目を体験する貴重な機会ともなります。

ゼミナール・修了論文

ゼミナールの活動は、これまでの人生経験を含めて各受講生の知的な潜在能力を引き出すための共同作業です。受講生はいずれかのゼミナールに所属し、修了論文の完成を目指します。そこでは、セカンドステージ・ライフを見据えて各自が関心のあるテーマについて調査研究を重ね、その成果の発表と討論を経て、意見の違う人が納得できるように論じます。年度末の3月には全ゼミナール合同で修了論文発表会も開催されています。

*ゼミナール担当教員は選べません。

開講期間は春学期、夏期集中講義、秋学期の3期に分けられます。

講義期間は春学期、夏期集中講義、秋学期の3期に分けられます。ゼミナール・修了論文は入学時にクラスが指定され、春学期と秋学期を通して受講します。夏期集中講義は8月～9月中旬に1科目3日間の連続で10:00～17:00に開講される選択科目です。8月下旬～9月上旬には、ゼミ合同研修が開催され、特別講演や自然観察会などのイベントを通じて、各ゼミの枠を超えた人間関係やネットワークづくりの機会となります。また、秋学期の授業期間終了後には各種の学びの体験型イベントも、開催されています。

開講科目とスケジュール

Courses and Schedules

以下は、2024年度のカリキュラムです。立教セカンドステージ大学の科目は月～金曜日の4時限、5時限に開講し、1回の授業は90分です。各学期にオンライン曜日を設けて、1時限目(8:50開始)から5時限目(18:40終了)までの各時限の科目をオンラインで開講しています。なお、本科ゼミナールは、原則として木曜日5時限の開講です。開講時間帯が重なる科目の同時履修はできません。

春学期

A. 対面授業(履修人数制限あり)

月・火・水・木曜日 4時限(15:20~16:50)5時限(17:10~18:40)

時限	4時限		5時限	
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者
月	食と健康の教養学	松山 伸一	NPO法人の理論と事例研究	森 卓也
			数理のマジカル・ミステリー・ツアー	浜田 忠久
火	シニアのための経営学	佐々木 宏	フランスの政治・社会・文化	橋本 晃
水	金融論	鉢村 健	アメリカ研究入門	生井 英考
	ジャーナリズムと法B	服部 孝章		
木	オムニバス講義「学問の世界A」	ゼミ担当教員他	本科ゼミナール・修了論文	ゼミ担当教員

B. オンライン授業

金曜日 1時限(8:50~10:20) 2時限(10:45~12:15) 3時限(13:25~14:55)
4時限(15:20~16:50)5時限(17:10~18:40)

時限	科目名	担当者	科目名	担当者
1	セカンドステージとテクノロジー	村上 祐子		
2	Media Studies	黄 盛彬	会計・税務の初歩から実践まで	坂本 雅士
3	現代中国のメディア	森平 崇文	最後まで自分らしく	小谷みどり
4	古典和歌を読むB	加藤 睦	社会老年学	安藤 孝敏
5				

C. 全学共通コラボレーション科目

木曜日 2時限(10:45~12:25) 100分授業

科目名	担当者	備考
SDGs×AI×経済×法	河村 賢治 阿部 治	1)学部学生と履修する異世代共学 2)全学共通科目の例外で、RSSC受講生50名まで履修可能

秋学期

A. 対面授業

月・水・木・金曜日 4時限(15:20~16:50)5時限(17:10~18:40)

時限	4時限		5時限	
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者
月	グローバル社会とメディアの使命	三浦 元	現代化学の成果と社会生活	宮部 寛志
	信託機能を活用した社会貢献・財産管理	堂園 昇平		
水	自由な市民のための映画学入門	中村 秀之	プラチナ社会におけるアクティブシニア論	松田 智生
	社会の持続可能性と環境問題	奇二 正彦		
木	セカンドステージを楽しむ詩心・気心	渡辺 信二	本科ゼミナール・修了論文	ゼミ担当教員
金	修了生が語るアクティブシニアの生き方	栗田 和明	アドラー心理学を実践に活かす	箕口 雅博

B. オンライン授業

火曜日 1時限(8:50~10:20) 2時限(10:45~12:15) 3時限(13:25~14:55)
4時限(15:20~16:50)5時限(17:10~18:40)

時限	科目名	担当者	科目名	担当者
1	日本思想を名著でたどる	大熊 玄		
2	現代美術に親しむ	菊池 敏直	生きがいの生涯発達心理学	大野 久
3	セカンドステージの市民生活とNPO活動	渡辺 豊博		
4	国際政治とグローバル市民社会の構想	竹中 千春	社会老年学	安藤 孝敏
5	聖書と私	新井 美穂	東洋思想からの問い	松本 秀士

C. 秋期集中講義 対面授業10:00~17:00

科目名	担当者	備考
環境保全とコミュニティ形成【人数制限24名】	永石 文明	11/1(金)、2(土)、5(火)

D. 全学共通科目立教ゼミナール発展編

水曜日 5時限(17:10~18:50) 100分授業

科目名	担当者	備考
異世代間対話—現代文明生活の諸問題—	佐々木一也	1)学部学生と履修する異世代共学 2)全学共通科目の例外で、RSSC受講生10名まで履修可能

夏期集中講義

A. 8/1~29 対面授業

平日3日連続(白枠に記載の日程) 開講時間10:00~17:00

科目名	担当者	8月の開講日程			
現代社会と民法	野澤 正充	8/1,2,5			
アートに基づいた学習活動のデザイン【人数制限10名】	石黒 広昭	木・金・月			
健康長寿とアンチエイジング	杉浦 克己		8/6,7,8		
童謡を通して社会を視る	井手口彰典		火・水・木		
セカンドステージの住まいづくり	甲斐 徹郎			8/22,23,26	
歌が照らす人と社会	佐藤 壮広				8/27,28,29
ソーシャルビジネスの理論と実務	永沢 映				火・水・木

B. 8/5~8/8 全学共通科目【多彩な科目】

4. 心身への着目 対面授業 4日連続 開講時間8:50~17:00

科目名	担当者	備考
いのちを健康で彩る知恵(Health Humanitiesへの招待)	菊田 文夫 後藤 広史	1)立教大学と聖路加国際大学の合同開講科目 2)立教大学池袋キャンパス(2日)と聖路加国際大学(2日)で開講 3)全学共通科目の例外で、RSSC受講生20名まで履修可能

C. 8/30~9/17 対面授業

平日3日連続(白枠に記載の日程) 開講時間10:00~17:00

科目名	担当者	8月	9月の開講日程		
現在(いま)を生きるための健生学	堀 エリカ	8/30,9/2,3 金・月・火			9/17,18
持続可能な社会と地域づくり	阿部 治		9/4,5,6		本科ゼミ(合同研修 予定【日数未定】)
原風景とジオラマで自分史をつくる【人数制限10名】	野中 健一				
サステナブルコミュニティの思想と実践【人数制限30名】	大和田順子		9/9,10,11	月・火・水	

立教大学全学共通科目の受講について

General Curriculum

立教セカンドステージ大学の受講生は、立教大学学部学生のための全学共通科目から講義系科目の受講を一定の条件の下に認められており、春学期・秋学期に各2科目の履修が可能です。多彩な科目が多数用意されており、異世代の若い学生とともに学ぶことで、未来を担う世代を理解する機会にもなる「異世代共学」の現場です。

たとえば次の全学共通科目が履修されています。全学共通科目の科目概要は立教大学のホームページに掲載されています。なお、毎年、若干の変更があります。

聖書と人間、イスラームの世界、現代社会と人間、哲学への扉、教育と人間、歴史への扉、多文化の世界、文化を生きる、手話と人権を考える、ヨーロッパの文化とことば、中東の文化とことば、イタリアの文化とことば、フランス語圏の文化、スペイン語圏の文化、朝鮮語圏の文化、教育学への扉、ボランティア論、哲学対話 in Rikkyo、ジェンダー・宗教・社会、日本の宗教、多文化社会と異文化コミュニケーション、入門・経済教室、景気・格差問題と統計情報、法と社会、グローバル社会における法と政治、現代のビジネスを学ぶ、現代社会と環境、情報と倫理、文化と社会、コミュニティをデザインする、パレスチナ問題の歴史と現在
立教ゼミナール発展編、SDGs×AI×経済×法、いのちを健康で彩る智慧 (Health Humanities への招待)

*一部に受講できない科目があります。またRSSCの全学共通コラボレーション科目等を除いて、1科目4名以上の受講希望者があるときは、抽選になります。

修了生の活動

Activities of Alumni

立教セカンドステージ大学で学んだ修了生は〈自由な市民〉としてさまざまな活動に参加しています。受講生仲間と読書会や勉強会の活動を続ける、RSSCの本科から専攻科に進む、聴講生制度を利用する、大学院に進学する、あるいは再就職や起業に挑戦、地域やコミュニティでのボランティアやNPO活動に参加するなど多彩です。とりわけ社会貢献活動で活躍することへの関心も高まっています。

修了生による同窓会も組織されています。会員は、全体行事や同期生ごとの集いのほか、各種研究会やサークルを通じて活発に交流し、その様子を同窓会のホームページでも報告しています。RSSCでの修学は一過性のもではありません。修了生は、在学時のさまざまな絆を維持し、相互に新たなネットワークを築きながら、学びや社会活動の機会を自ら創造し、活用しているのが大きな特徴です。



立教セカンドステージ大学同窓会ホームページ
<https://rssc-dsk.net/>

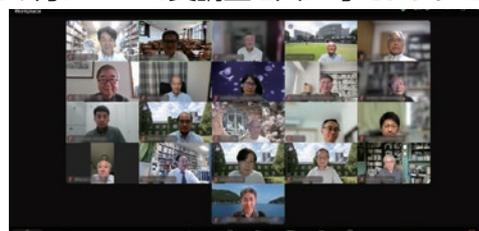
オンライン化する社会へ向けての取り組み

Toward a Society Online

立教セカンドステージ大学では、2020年度より、オンライン授業を一部の科目に取り入れられました。これにより、受講生は、自宅のPCからRSSCの授業を受講し、教員に質問したり、他の受講生と議論したりすることなどができるようになりました。

RSSCは、オンラインコミュニケーションに関する技能や教養を新たな時代のリベラル・アーツの一環としてとらえ、実際にオンラインでコミュニケーションをとりながら、そのあり方について受講生と共に考えます。こうした学びの中で得られた知識や経験は、〈自由な市民〉としての生き方を自らデザインしていく上で、貴重な財産になるはずで

オンライン授業の受講にあたっては、PCなどの準備が必要になります。RSSCで学ぶことを検討している方々の中には、PCに不慣れな方もおられると思いますが、RSSCとしては、誰一人取り残すことなく、サポートしていきたいと考えています。



ZOOMミーティングの画面イメージ

担当教員の声

Voices of Faculty Members



水上 徹男

立教セカンドステージ大学副学長
立教大学社会学部特別専任教授 (グローバル社会論、マイグレーション研究)

本学は教員と受講生が協同、ともに授業を創っていく視点を大切にしています。すべての受講生がゼミナールに所属、多様な観点からの考え方を身につけて、これまでの経験や学習を再構築することができます。さまざまな専門分野から集まった本学のスタッフは、それぞれの分野で第一人者的な研究者であり、特徴あるカリキュラムを支えています。

本学での新たな学びへチャレンジする方々をお待ちしています。



上田 恵介

立教大学名誉教授
日本野鳥の会会長 (動物行動学、鳥類学、生物多様性)

立教セカンドステージ大学は2023年4月で15周年を迎えました。すでに1200人を超える修了生が社会に出て行きました。人生100年時代。RSSCの修了生は家庭や地域、NPOと、社会のあちこちで元気に活躍しています。大切なことは、たとえ歳をとっても、身体と頭の動く限り、社会の一員として、目標を持ち、誇りを持って生きていくことではないでしょうか。

元気な50歳以上のみなさまの入学を心よりお待ちしております。



上田 信

立教大学文学部史学科世界史学専修特別専任教授
(中国史、アジア社会論)

借り物ではない、自分だけしか創れない何かを創る、これがセカンドステージ大学の受講生に私がお願いしていることです。137億年という宇宙の歴史の中で、「私」という現象は、唯一無二。

自分の人生を掘り下げる、自分が立っている場所から考え始める、自分の内から発する好奇心に導かれて立教大学図書館の蔵書を手当たり次第に乱読する、いろんな授業に出て冷や汗でもいので「汗」をかく。挑戦してください。待っています。



和田 亨

立教大学理学部化学科教授
(錯体触媒化学)

立教セカンドステージでは全受講生がゼミナールに参加します。週一回のゼミでは、熱のこもった議論に授業時間をオーバーしてしまうこともしばしばです。受講生は、それぞれ異なるバックグラウンドを持っています。異なる見方からの意見には、多くのことを気付かされます。ディスカッションの楽しさこそが、学問の魅力そのものなのかもしれません。

ぜひ、皆さんも立教セカンドステージ大学で、学問をエンジョイしましょう！

講師陣

Faculty

セミナー・修了論文および講義担当

阿部 治	立教大学名誉教授(環境教育、ESD)
李 政珍	立教大学社会学部社会学科特別専任教授(労使関係、産業社会学、労働社会学)
上田 恵介	立教大学名誉教授/日本野鳥の会会長(動物行動学、鳥類学、生物多様性)
上田 信	立教大学文学部史学科世界史学専修特別専任教授(中国史、アジア社会論)
大野 久	立教セカンドステージ大学特命教員/立教大学名誉教授(生涯発達心理、青年心理学)
河村 賢治	立教セカンドステージ大学学長補佐/立教大学法学部法学科教授(商法)
栗田 和明	立教セカンドステージ大学統括特命教員/立教大学名誉教授(文化人類学、民族学、人文地理学)
黒木 龍三	立教大学名誉教授(現代経済学、金融理論、経済学史、観光経済学)
佐々木一也	立教セカンドステージ大学特命教員/立教大学名誉教授(哲学、倫理学)
野田 研一	立教大学名誉教授(アメリカ文化、環境文学研究)
野呂 芳明	立教大学社会学部社会学科特別専任教授(都市社会学、地域社会学、福祉社会学)
堀 耕治	立教セカンドステージ大学特命教員/元立教大学現代心理学部心理学科教授(実験心理学)
松山 伸一	立教セカンドステージ大学特命教員/元立教大学理学部生命理学科教授(生命科学)
水上 徹男	立教セカンドステージ大学副学長、立教大学社会学部現代文化学科特別専任教授(グローバル社会論、マイグレーション研究)
渡辺 信二*	立教セカンドステージ大学特命教員/立教大学名誉教授(アメリカ文学、日米比較、創作)
和田 亨	立教大学理学部化学科教授(錯体触媒化学)

選択科目担当

新井 美穂	日本キリスト教団伊勢原教会牧師(新約聖書学)
安藤 孝敏	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授(社会老年学、高齢者心理学)
生井 英考	元立教大学社会学部メディア社会学科教授(アメリカ研究、政治社会学)
石黒 広昭	立教大学文学部教育学科特別専任教授(教育心理学・発達心理学)
井手口 彰典	立教大学社会学部メディア社会学科教授(音楽社会学)
大熊 玄	立教大学文学部・大学院社会デザイン研究科教授(哲学、仏教、日本思想)
大和田 順子	元同志社大学大学院総合政策科学研究科教授(ソーシャル・イノベーション、ESD)
甲斐 徹郎	建築まちづくりプロデューサー/㈱チームネット代表取締役(環境・コミュニティデザイン)
加藤 睦	立教大学名誉教授(中古・中世和歌文学)
菊池 敏直	画家/元阿佐ヶ谷美術専門学校校長(表象文化)
奇二 正彦	立教大学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科准教授(環境教育)
小谷 みどり	シニア生活文化研究所代表理事(死生学、生活設計論、余暇論)
坂本 雅士	立教大学経済学部会計ファイナンス学科教授(租税法、税務会計論)
佐々木 宏	立教大学経営学部経営学科特別専任教授(デジタルトランスフォーメーション)
佐藤 壮広	山梨学院大学特任准教授(宗教学、表現文化論、沖縄研究)
杉浦 克己	立教大学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科特別専任教授(ライフサイエンス)
竹中 千春	元立教大学法学部政治学科教授(国際政治)
堂園 昇平	元同志社大学法学部教授(企業法務、金融法、信託法)
永石 文明	(株)エコロジーパス代表取締役/JWCS理事(生物多様性、保全生態学)
永沢 映	(特非)コミュニティビジネスサポートセンター代表理事/ (公財)いきいき埼玉理事長(ソーシャルビジネス)
中村 秀之	元立教大学現代心理学部映像身体学科教授(映画研究)
野澤 正充	立教大学法学部法学科教授(民法)
野中 健一	立教大学文学部史学科超域文化学専修教授(文化環境学)
橋本 晃	立教大学社会学部メディア社会学科特別専任教授(ジャーナリズムスタディーズ)
鉢村 健	令和総合研究所(代表取締役)/TOPPANエッジ(株)顧問/元日本銀行神戸支店長(金融論)
服部 孝章*	立教大学名誉教授(メディア法、情報社会論)
浜田 忠久	NPO法人市民コンピュータコミュニケーション研究会(JCAFE)代表(数学、情報ネットワーク社会論)
黄 盛彬	立教大学社会学部メディア社会学科教授(メディア研究、文化研究)
堀 エリカ	(株)医療コーディネータージャパン代表(臨床看護学・医学、ヘルスリテラシー、死生学)
松田 智生	三菱総合研究所未来共創本部主席研究員(地域活性化、アクティブシニア論)
松本 秀士	立教大学兼任講師(東洋思想)
三浦 元	元日本放送協会(NHK)広報局長・福岡放送局長(メディア社会論)
箕口 雅博	立教大学名誉教授(臨床・コミュニティ心理学、アドラー心理学)
宮部 寛志	立教大学理学部化学科特別専任教授(分析化学)
村上 祐子	立教大学文学部・大学院人工知能科学研究科教授(哲学・倫理、人工知能の哲学)
森 卓也	三菱総合研究所主席研究員(ヘルスケア、ウエルネス)
森平 崇文	立教大学外国語教育研究センター教授(中国メディア、上海史)
渡辺 豊博	元都留文科大学教授(市民活動論、富士山学)

* 教員は、その所属と肩書を含めて、2024年度の陣容で、年度によって一部変更になることがあります。なお、オムニバス講義のみに登壇する講師や選択科目のゲストスピーカーは省略してあります。

※ 2025年3月退職予定

2025年度 本科受講生募集の概要

Application Procedures & 2025 Admission

出願資格	2025年の4月1日現在、満50歳以上で、高等学校を卒業、またはこれに準じた学力があると認められる方
募集人員	100名
募集期間	2024年12月9日(月)～2025年1月15日(水)
面接試験日	2025年2月17日(月)、18日(火) (いずれか1日を大学側から指定します)
選考料	10,000円
選考方法	書類選考(履歴書・課題エッセイ)および面接試験
合格発表	2025年2月19日(水)
登録料・受講料	登録料 100,000円 受講料 330,000円
その他	立教セカンドステージ大学は、文部科学省認可の大学ではありませんので、学割・通学定期券の利用はできません

出願前に必ずご確認ください

本パンフレットに記載のカリキュラム、課外活動、各種行事は、感染症等の状況により、実施形態が変更になる可能性があります。



2025年度の募集要項は、ホームページからダウンロードしていただくか、下記事務室にご請求下さい。

入学試験のポイント

入学試験として、課題エッセイの事前提出と面接試験が課されます。そのポイントは次の通りです。

- ①課題エッセイと面接試験を総合して可否を判定します。筆記試験は行いません。
- ②課題エッセイは「志願理由」をテーマに、今までどのような人生を送ってきたか、家族とのかかわり、地域との交流のほか、自分の特技・趣味、そして、当大学で学んだことをどのように生かしたいか等を、2500字程度で自由に記載して応募時に提出いただきます。
- ③面接試験は、全応募者に対して1人15分程度の質疑応答をオンラインで行います。主なポイントは、立教セカンドステージ大学に出願された動機、入学後どのようなことを学びたいか、また、学んだことを修了後にどのように生かしたいか等、意欲のあるところを述べていただきます。

来校しての面接試験ではなく、オンライン面接を実施しますので、インターネットに接続したカメラ・マイク付PCまたはスマートフォンを使用して動画で対話できる環境が必要です。なお、入学後は、修了論文の執筆、オンラインによる受講や課外活動のために、カメラ・マイク付PCでのインターネット接続が必須になります。

立教セカンドステージ大学

所在地/〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

「セカンドステージ大学」は
学校法人立教学院の登録商標です。
(登録5180371)

詳しい情報はHPをご覧ください。

立教セカンドステージ大学 検索

開講科目、教授陣、授業の内容
やゼミナールの特徴、課外活動
の様子などが掲載されています。

スマートフォンからも
ご覧いただけます。



- JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線「要町駅」6番出口より大学正門まで徒歩約6分

お問合せ 立教セカンドステージ大学事務室

Tel: 03-3985-4672

E-mail: rssc@rikkyo.ac.jp